



平成 29 年 2 月 6 日

各 位

会 社 名 小野薬品工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 相良 暁
(コード:4528 東証第一部)
問合せ先 執行役員広報部長 谷 幸雄
(TEL:06-6263-5670)

2 月 4 日の当社に関する一部報道機関の報道について

2 月 4 日付の日本経済新聞で、「当社が今後 5 年以内に米国において手元資金に加え借入れを含めて 4,000 億円～5,000 億円規模の大型買収を実施する方針を明らかにした。」と報道されていますが、現時点で決定している事実も交渉している事実もありません。

当社は、「開発パイプラインの拡充」「海外展開の推進」を現状における重要な経営課題として位置付け、M&A（企業買収）も成長戦略のための重要な選択肢のひとつと考えており、M&A については、その都度、企業価値やシナジー効果を見極めていきます。なお、その規模については、基本的に手元資金の範囲内と考えています。

【開発パイプラインの拡充】

持続的成長のためには開発パイプラインを拡充し、継続的に新薬を市場に送り出すことが不可欠です。そのために、創薬においてはオープン・イノベーションを推進し、世界最先端の技術と知見を活用した、独創的かつ画期的な医薬品の創製を加速する取組みを進めています。また、積極的なライセンス活動を通じて新薬候補化合物の導入も推進しています。さらには、魅力ある新薬候補物質を多数保有する未上場企業や、創薬のための世界最先端技術を有するバイオベンチャーなどに対しては、前向きに M&A を検討していきたいと考えています。

【海外展開の推進】

自社創製の新薬を世界中の患者さんにお届けできるよう、海外での臨床開発を推進するとともに、海外提携企業への導出を通じ、自社創製化合物の海外での早期上市を目指してグローバルな事業展開を進めています。

また、抗がん剤などのスペシャリティ製品を中心に、海外でも自社販売していけるよう取り組んでおり、すでに 2013 年に韓国、2014 年には台湾に、それぞれ 100% 出資子会社を設立し、自販体制を整備しました。将来的には欧米においても自販体制を整えていきたいと考えています。

以上